

経営協議会議事要旨

1. 日時 令和4年1月18日(火) 13:30～15:18
 2. 場所 Teamsによるオンライン会議
 3. 出席者 福田(学長・議長)
今井, 岡井, 櫛引, 永澤, 九戸, 木村, 三國谷, 稲庭
吉澤, 渡邊, 郡, 若林, 石川, 大山, 安川の各委員16名
 - 欠席者 青山委員1名
 - 陪席者 山内監事, 吉田監事, 柏倉学長特別補佐, 杉原国際連携本部長, 加藤法人
内部監査室長
 - 事務部陪席 太田参事役(病院再開発担当), 阿部総務部長, 飯田財務部長, 高橋学務
部長, 森屋施設環境部長, 齊藤研究推進部長(兼)社会連携部長, 村市医
学部附属病院事務部長, 古舘総務企画課長, 金沢広報・情報戦略課長, 後
藤人事課長, 浅利財務企画課長, 佐藤財務管理課長, 齋藤契約課長, 窪施
設企画課長, 山口教務課長, 山田入試課長
4. 配付資料
- 資料 1-1【事前配付】第4期中期目標(原案)・中期計画(案)
 - 資料 1-2【事前配付】中期目標についての意見(原案)
 - 資料 2-1【事前配付】(改正の概要)国立大学法人法等の一部改正に伴う業務方法書
の変更及び学内関係規則等の一部改正について
 - 資料 2-2【事前配付】国立大学法人法の一部改正に伴う学内関係規則等一覧
 - 資料 3-1【事前配付】国立大学法人の第3期中期目標期間における各年度終了時の
評価に係る実施概要
 - 資料 3-2【事前配付】令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果 国立大学法人
弘前大学
 - 資料 3-3【事前配付】国立大学法人等の令和2年度評価結果について
 - 資料 4 【事前配付】弘前大学の令和4年度運営費交付金について
 - 資料 5-1【当日配付】国立大学法人の第3期中期目標期間(4年目終了時)の業務
の実績に関する評価結果比較(全国)
 - 資料 5-2【当日配付】国立大学法人の第3期中期目標期間(4年目終了時)の業務
の実績に関する評価結果比較(東北ブロック)
 - 資料 5-3【当日配付】第3期中期目標期間(4年目終了時)評価結果を基にした「法
人運営活性化支援分」算定の考え方
 - 資料 5-4【当日配付】国立大学法人の第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価
結果比較(全国)
 - 資料 5-5【当日配付】国立大学法人の第2期中期目標期間の業務の実績に関する評価
結果比較(東北ブロック)
 - 資料 5-6【当日配付】第2期中期目標期間評価結果を基にした「法人運営活性化支援
分」の算定の考え方
 - 資料 6 【事前配付】令和3年度内部監査結果報告書
 - 資料 7 【当日配付】弘前大学の最近における新型コロナウイルスへの対応状況
 - 資料 8 【当日配付】ひろだい学生めしレシピコンテストについて

5. 議事

- ・ 議長から、11月16日開催の議事要旨（案）の確認が行われ、原案のとおり承認された。

○審議事項

審議 1 第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について

吉澤企画担当理事から、資料 1-1 及び資料 1-2 に基づき、第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について説明があり、委員からの意見を踏まえ一部修正することとし、最終決定については役員会に一任することで了承された。

審議 2 国立大学法人法の一部改正等に伴う業務方法書の変更及び学内関係規則等の一部改正について

渡邊総務担当理事から、資料 2-1 及び資料 2-2 に基づき、国立大学法人法の一部改正等に伴う業務方法書の変更及び学内関係規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり了承された。

○報告事項

報告 1 国立大学法人弘前大学の令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果について

吉澤企画担当理事から、資料 3-1 から資料 3-3 に基づき、国立大学法人弘前大学の令和2年度に係る業務の実績（業務運営・財務内容等の状況）に関する4項目についてすべて「順調」との評価を受けたことおよび他大学の状況について報告があった。

報告 2 弘前大学の令和4年度運営費交付金について

渡邊総務担当理事から、資料 4 に基づき、弘前大学の令和4年度運営費交付金について報告があった。

報告 3 法人運営活性化支援分に係る第3期中期目標期間（4年目終了時）の業務の実績に関する評価結果等について

吉澤企画担当理事から、資料 5-1 から資料 5-6 に基づき、運営費交付金の中の法人運営活性化支援分（40,832 千円）について以下の説明があった。

4年目終了時の業務の実績に関する評価結果について項目ごとにポイント化し、その合計が平均を上回る大学等に対して基本配分額および評価配分額として配分されたものであること。他大学の状況を試算したところ、86大学中33大学が配分を受け、東北地区では本学と東北大学のみと推定される。

評価自体はほぼ同等であったにもかかわらず、第2期の実績に基づいて第3期中期目標期間中に配分された額（55,955 千円/年）より配分額が下がった理由は、基幹経費の大きい大規模大学が配分対象となったことから、配分係数が前回に比べ小さくなったことによる。なお、この法人運営活性化支援分を第3期、第4期と2期続けて配分されるのは東北地区では弘前大学のみである。

報告 4 令和3年度内部監査（基本監査項目）の結果について

加藤法人内部監査室長から、資料 6 に基づき、令和3年度内部監査結果報告書について報告があった。

報告5 弘前大学における新型コロナウイルスへの対応について

渡邊総務担当理事及び郡教育担当理事から、資料7に基づき、弘前大学の最近における新型コロナウイルスへの対応状況について報告があった。

報告6 ひろだい学生めしレシピコンテストについて

石川社会連携担当理事から、資料8に基づき、ひろだい学生めしレシピコンテスト等について報告があった。

報告7 その他（大学入学共通テストについて）

郡教育担当理事から、大学入学共通テストが1月15日、16日に無事終了したことについて報告があった。

○質疑応答（□：学外委員 ○：学内委員）

1 第4期中期目標（原案）・中期計画（案）について

- 6月の経営協議会で審議されたものが案で、今回は最終版ということなのか。
- 6月の経営協議会での審議は、7月末が提出期限となっている文部科学省へ提出する素案についてであった。今回の案は最終版である。

- 中期目標は国が示すもの、中期計画は大学が作成するものと理解しているが。
- そのとおりである。

- 教学IRやFDの充実等、略語のみではわかりにくいのではないか。
- 用語集のようなものを付けたいと思う。
(本学公式ホームページに掲載する際に用語集も併せて掲載予定である。)

- 【24】にインシデントレポートの数を増やすとあるが、インシデントは少ない方がいいのではないか。
- インシデントが多いのは問題だが、軽微なインシデントであっても報告するということが大切であり、【24】はそういった報告を増やすという意味である。

- 基本方針の中に、「国の重点施策を推進する」という記述があるが、弘前大学の強みは再生可能エネルギー、環境、被ばく医療及び食であり、それを推進するのではないのか。「国の重点施策」とは何か。国から示されているのか。
- 地方創生がコロナを機に急速に進むということを明らかにしたいと考え、「コロナを契機に起こった社会変動を踏まえて地方創生に向けた国の重点施策を推進する」という本学の意気込みである。
- 本学のミッションであり、国から言われて記載しているのではない。
- 中期目標は国が示すものなので、国が言っているということを考えての記述とすべきなのではないかと感じた。

- 「教員組織の見直し」とはどういうことか。

- 学系（教員組織）を見直すということである。
 - 【22】「ミドルリーダーの育成」が「青森県の課題」であるとの記述があるが、青森県の見解か、それとも弘前大学の見解か。中期目標の基本方針において「世界最高水準の研究力を生かし」と謳っていることから、ミドルリーダーに限るのはどうか、トップリーダーの育成も視野にいれるべきではないか。
 - 教職大学院の目的がミドルリーダーの育成であるので、青森県と共通理解を得られていると考えている。記述については教育学部長とも相談の上、決めたい。
 - 【34】評価指標に「運用収益を、20年国債で運用した場合の2倍以上にする」とあるが、長期的に見ると目標が高いのではないか。
 - 指標を定める際に、これまでの社債運用の実績から「運用収益を、20年国債で運用した場合の2倍以上にする」としたが、ご指摘のとおりであり、「2倍」ではなく「上回る」とするのが良いのではと考える。
- 2 法人運営活性化支援分に係る第3期中期目標期間（4年目終了時）の業務の実績に関する評価結果等について
- 第3期中期目標期間（4年目終了時）の弘前大学の「その他業務運営」が「3」だった理由は何か。
 - 平成28年度に向精神薬の不適切使用があり、同年指摘を受けすぐに改善したが、それが影響している。
 - 第4期において数値目標がかなり重要な指標になるのではないか。
 - すでに第3期中期計画策定の際に、できる限り数値目標を導入するようにとの要請があった。本学も指標としての数値目標の達成状況の把握を行ってきている。第4期も引き続き数値目標の管理が重要であると考えている。

以上